

東北大学東北アジア研究センター・共同研究

「東北アジアにおける辺境地域社会再編と共生様態に関する歴史的・現代的な研究」シンポジウム

越境の東北アジア：統治の動揺と地域流動化

趣旨説明 (10:00 - 10:20)

岡 洋樹 (東北大学東北アジア研究センター教授)

セッション1：越境の様態 (10:20 - 11:40)

報告1 「中朝の経済関係と中朝辺境の変遷」

今村 弘子 (富山大学極東地域研究センター教授) (10:20 - 10:40)

報告2 「ロシア極東の人口動態とその経済学的展望」

雲 和広 (一橋大学経済研究所教授) (10:40 - 11:00)

報告3 「中国の経済発展と東北アジアの越境——リージョナリズムとグローバリズム」

松野 周治 (立命館大学経済学部教授) (11:00 - 11:20)

討 論 (11:20 - 11:40)

セッション2：移りゆく人々 (13:00 - 14:20)

報告4 「移民政策決定過程におけるロシア政府と総督府の役割

——沿アムール地方の東アジア移民受入政策を事例に (1884 ~ 1916年)」

サヴェリエフ・イゴリ (名古屋大学大学院国際開発研究科准教授) (13:00 - 13:20)

報告5 「遊牧と移住のあいだ

——20世紀前半内モンゴル・フルンボイル社会の動態から」

中村 篤志 (山形大学人文学部准教授) (13:20 - 13:40)

報告6 「露中関係からみる白系ロシア人」

ポダルコ・ピョートル (青山学院大学国際政治経済学部教授) (13:40 - 14:00)

討 論 (14:00 - 14:20)

セッション3：共生の歴史的経験 (14:30 - 16:20)

報告7 「内地移民北上与蒙古社会变革——以清代喀喇沁地区为中心」

白 玉双 (内モンゴル師範大学蒙古歴史文化学院副教授) (14:30 - 14:50)

報告8 「「八旗」と「民族」の交差——清代旗人のアイデンティティ複合」

柳澤 明 (早稲田大学文学学術院教授) (14:50 - 15:10)

報告9 「地方文書に見る清末モンゴル西部のカザフ人」

井上 治 (島根県立大学総合政策学部教授) (15:20 - 15:40)

報告10 「清朝の「蒙漢通婚禁止例」とその歴史的意義」

佐藤 憲行 (復旦大学中国歴史地理研究所副教授) (15:40 - 16:00)

討 論 (16:00 - 16:20)

セッション4：変動と越境の構図 (16:30 - 17:50)

報告11 「モンゴルにおける清朝統治の変動の歴史的意味——人の移動を中心に」

岡 洋樹 (東北大学東北アジア研究センター教授) (16:30 - 16:50)

報告12 「中露国境地域の中国人——越境の構図の変容」

堀江 典生 (富山大学極東地域研究センター教授) (16:50 - 17:10)

総括討論 (17:10 - 17:50)